

令和4年度仙台市若林障害者福祉センター 障害者週間イベントを開催しました。

令和4年12月11日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和4年12月3日（土）当センターにて「障害者週間イベント」を実施しました。

障害者週間は、障害者福祉に関心と理解を広く深めていただくとともに、障害のある方が、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設けられました。若林障害者福祉センターでは障害者週間に合わせて、2つのイベントを実施しました。

「ロビーコンサート」参加者 26名

町内会や利用者の方々を含め大勢の方が集まる中、サークル楽琴会様による童謡や歌謡曲、「ああ人生に涙あり」に合わせた体操などを交えた大正琴の演奏を楽しみました。観客の皆さんからは、「近くで聞けてとても良かった。」「なかなか聞くことのない大正琴すてきでした」などのご意見をいただきました。

「バグゴ体験教室ミニ健康講話付き」参加者 3名

午後より、仙台市障害者スポーツ指導者協議会佐藤尚志氏をお迎えして、「バグゴ」の体験教室を開催しました。

最初に、バグゴの名前の由来やルールや競技方法を教えていただきました。バグゴは、6m先のボードの穴にビーンバックを入れる誰でもできる単純なゲームで、最初は、力加減が分からず、5m位から始めて、力の弱い方は少し手前から二手に分かれて練習をしました。ボードの手前に落ちたり、通り過ぎてしまったりしましたが、何回かするうちにボードの上に乗ったり、穴に入れたりすることができるようになりました。その後、個人戦と団体戦を行い、一投一投に力が入り、ボードの穴に入ると歓声が上がリ、外れると残念そうにしていました。

バグゴ体験教室終了後、当センター看護師による感染症予防のための、石鹸を使った手の洗い方について、実技指導を行いました。今後も皆様が楽しめる教室を企画し、開催して行きたいと思います。

